



アートラボあいち アーティストインレジデンスプログラム - まちと synergism -

愛知県名古屋市の都心部に位置する長者町（名古屋市中区錦二丁目）地区は、愛知県で開催されている現代アートの国際芸術祭、あいちトリエンナーレで三度、まちなか会場となっています。初回 2010 年のトリエンナーレ会期中、まちなかではいくつもの作品が展開され、アーティストや地域の人々、ボランティアが出会い、交流する場面が見られました。その光景に触発され、アートに関わる市民団体が立ち上がり、若いアーティストたちが活動拠点をもち、まちなかにトリエンナーレの作品が残されて維持管理されるなど、まちとアートの相乗作用が今なお起こり続けています。「アートラボあいち」は、2010 年のトリエンナーレ閉幕後、長者町地区にあった展示会場の一つを引き継ぐかたちで設置されたアートセンターで、県内の芸術大学主催による展覧会などを行ってきました。2015 年には活動場所を長者町地区内と大津橋の二箇所に移して、その運営を続けてきましたが、まちの再開発に伴い、2017 年 3 月末日をもって、長者町地区の建物からは撤退し、大津橋にその活動を集約させます。そこで、長者町地区での最後のプロジェクトとし、潜在制作をとおして長者町地区の地域資源を活かすことのできるアーティストを最大 2 組公募いたします。制作された作品はレジデンス終了後、アーティストとアートラボあいち、作品に関わる関係者との協議のうえ、その後も可能な限り保管し、維持管理を行う予定です。

募集人数 最大 2 組

審査員 服部 浩之（元あいちトリエンナーレ 2016 共同キュレーター）、武藤 勇（N-mark 代表）、滝 一之（株式会社滝一代表取締役）、武藤 隆（長者町アートアニュアル副会長） ※順不同・敬称略

応募条件 ① 地域に関わり、長者町でしか成り立たない作品であること。（作品形態、ジャンルは問いません）
② 2017 年 1 月 11 日（水）～3 月 10 日（金）の会期中、スタジオで制作し、その場所を公開できること。
③ スタジオでの制作物を 2017 年 3 月 11 日（土）～3 月 31 日（金）の成果展で発表できること。
④ 月 1 回実施するオープンスタジオへ参加できること。 ※現在第 3 水曜日を予定
⑤ 経歴、年齢、国籍不問。ただし日本語でのコミュニケーションがとれること。

サポート体制 ・アートラボあいち長者町を制作スタジオ、および成果展会場として提供
・制作費の補助（上限 100,000 円／組） そのほか滞在場所の無償提供、キュレーターによる制作・展覧会アドバイスなど

応募方法 所定の応募用紙をアートラボあいちの WEB サイトからダウンロードし、期限内にアートラボあいち大津橋まで、郵送または持参にて提出してください。作品プランの参考になる資料があればそちらも提出してください。資料は後日返却します。 ※いただいた個人情報は、応募に関する問い合わせや選考結果の連絡以外には使用しません。

応募期間 2016 年 12 月 21 日（水）19:00 必着 ※審査は 2016 年 12 月 23 日（金・祝）14:00～アートラボあいち大津橋にて公開で行います。どなたでも見学できます。

主催 アートラボあいち（NPO 法人まちの縁側育くみ隊） <http://www.artlab-aichi.com> ※プログラムに関するお問い合わせは右記メールにて担当（寺島）まで info@artlab-aichi.com